

## 第2号様式（第3関係）

### 令和元年度第1回高齢者保健福祉審議会議事録

1 開催日時 令和元年10月31日(木)午後3時から午後4時10分

2 開催場所 豊山町役場2階 会議室2

#### 3 出席者

(1)委員 6名

江崎弘(会長)、小坂啓史、寺町逸視、小塚奈緒美、小泉チエ子、坪井佳雅理

※欠席者:2名 鴨川健太郎、岡島薫

(2)事務局 7名

生活福祉部長 堀尾政美、保険課長 横田仁美、保険課高齢者・介護係主任 大下収悟、保険課  
高齢者・介護係主事 水野美里、地域包括支援センター包括支援係保健師主任 長友妙子  
計画策定委託業者(国立大学法人 名古屋大学) 大西丈二、猪飼容子

(3)傍聴者 なし

#### 4 議題

(1)平成30年度介護保険事業実績報告について(資料1)

(2)平成30年度地域包括支援センター事業報告について(資料2)

(3)第9次豊山町高齢者福祉計画・第8次介護保険事業計画の策定について(資料3)

(4)その他

#### 5 会議資料

冊子:第8次豊山町高齢者福祉計画・第7次介護保険事業計画

資料1:平成30年度介護保険事業実績報告について

資料1別添:取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)

取組と目標に対する自己評価シート(年度シート)

サービス見込量の進捗管理のための作業シート

資料2:平成30年度地域包括支援センター事業報告について

資料3:第9次豊山町高齢者福祉計画・第8次介護保険事業計画の策定について

資料3別紙:介護保険計画スケジュール

#### 6 議事内容

事務局	ただいまより、令和元年度第1回豊山町高齢者保健福祉審議会を開会します。 まず始めに、本日、鴨川委員、岡島委員から欠席の連絡をいただいておりますのでご報
-----	--

	<p>告します。</p> <p>審議会の開催にあたり、会長よりご挨拶をお願いします。</p>
会長	(挨拶)
事務局	<p>ありがとうございました。次に、審議会等の議事録についてお話をさせていただきます。</p> <p>町では、情報公開の一環として、平成20年10月から審議会や委員会等の議事録を、町のホームページに掲載することになっております。</p> <p>本会もその対象になり、どのような論議がされたか、要旨を抜粋して、議事録をホームページに掲載させていただきます。</p> <p>掲載について、ご承認いただけますでしょうか。</p>
会長	(異議なし)
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>また、議事録の内容につきましては、委員の皆様の確認が必要となります。</p> <p>議事録署名委員ですが、小塚委員と小泉委員2名の方と会長の併せて3名で、議事録の内容を確認することになります。</p> <p>議事録の署名については、事務局が本日の議事録を作成後、署名のお願いに伺いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、これからの審議会の議事進行については、江崎会長をお願いします。</p>
会長	では、次第に従いまして「議題(1)平成30年度介護保険事業実績報告について」事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料1、資料1別添、冊子を使用して説明)
会長	委員の皆様からご意見・ご質問はありませんか。
委員	将来推計について2019、2020年が多く、その後は減っていく一方とした根拠は何ですか。
事務局	国立人口問題研究所の数値に基づいて推計した結果となります。
委員	地域性があると思うが、豊山町では人口はこれまで下がったことがほとんどなかったと思われます。都市化が進んでおり、一世代ごとの世帯が増えているとともに、高齢者も増えていますがいかがですか。
事務局	高齢者は増えるが、人口は減ると予測されています。国立人口問題研究所の推計値に直近の実績値を用いて計算しましたが、減少が示されました。
委員	高齢者数が減っていく一方で、介護保険認定者数が増えているのはどうしてですか。
委員	高齢者数は増えています。認定率の伸びは、高齢者数増加の伸びより大きいため、認定者数が増えていると考えられます。
委員	伸びが大きいということは、介護保険の世話になる人の率が増えてくる訳ですね。これまでサービスを使うのをためらっていた人もあったが、使われることが多くなってきたということでしょうか。
事務局	確かに認定者が増加すれば、給付費に影響はあると考えられます。認定率の伸びに関しては、男性に比べ女性の方が長生きすることと、女性の認定率が高いことにより、結果的に認定率が上がったのではないかと推測されます。次期計画策定に向け、要因を確かめていきたいと思っております。

委員	1人あたりの給付額ですが、10年前の医療費より今の医療費の方が高くなっています。消費税増税の影響もありますが、高額介護合算療養費は今後、どうなるのでしょうか。要介護の低い人はさほどかからないとしても、要介護4の人や5の人は(合算額が)高くなるのではないのでしょうか。難しい問題だと思うが、医療費のことも考慮に入れなくてはいけないと思います。
事務局	資料11-12をご覧ください。介護度別の認定者数の推移が示されています。認定率は平成30年度から令和1年度5月までほぼ横ばいです。確かに要介護度の高い人が増えれば費用額も増えます。要介護が重度化すると改善はなかなか難しいと思われるので、地域包括ケアシステムの構築など、認定を受ける前の状態の人への対策を行っていきたいと思います。
委員	シルバー人材センターや老人クラブや豊山町などで頑張ってもらえたら、この辺(の認定率)が下がってくると思われれます。
委員	資料1の8頁の方では後期高齢者が増えていくとあります。令和7年度、前期高齢者は後期高齢者の2倍に迫る計画です。前期高齢者が減ってきて後期高齢者が増えるということですね。平成30年度の要介護認定者は計画値が343人のところ、実際は375人だった。令和元年度の計画値は358人となっているが、大丈夫かなと思った。前回の実績値より低い。実際の見込みより少なくないのでしょうか。
事務局	平成30年度の実績値は見込み(計画値)より多くなっており、推移を見ることで要因を分析しなければいけないと考えています。
委員	平成30年度の計画値と実績値について、政府の資料などからは、どのように分析されたのでしょうか。
事務局	要介護者の増加については、資料1別添のとおり、愛知県に提出した作業シート(「サービス見込量の進捗管理のための作業シート」)に、ステップ1という欄があり、認定率の比較になっています。前期高齢者と後期高齢者に分けると、前期は3.90%から6.17%に大きく増加しているが、逆に後期は25.54%から実際は22.69%に減少しています。計画に比べ、男性の認定率が増加していました。前期高齢者において高い値であったのは、男性に対する施策が不十分だったのか、詳細は分かっています。後期高齢者においては、重度者が増えていました。男性は要支援1が減少し、要介護2が増加、女性は要介護1~3が計画値より少なく、要介護4~5が計画値より高くなりました。実績値全体の伸び率は、計画値に用いた平成29年度の伸び率と同じように伸びていたため問題はないと思われるが、もしかすると平成29年度が特別だったかもしれない。これらを吟味したうえで、令和2年度の数値を扱う時は、計画値と違う原因や、推計値の伸びが正しいかを確認したいと考えています。今回、前期高齢者と後期高齢者の要介護を合わせると大きな乖離はないが、分けてみると計画値と違う点は確かにあり、反省として次に活かしたいと思います。
委員	高齢者の数が気になります。西友の南に1つ施設ができているが、住所地特例なのか否か、住所地特例との関連はどうでしょうか。
事務局	有料老人ホーム「はなひなの杜」ができており、住所地特例の対象外となります。次年度予算において、その影響を入れ、計画においても入れさせていただきたいと考えています。(町内にそのような施設ができることは)急に、一定のサービスが増えることになるので、それは異常値としてとるか、伸び率としてとるかは検討します。
委員	そういう施設が現に2,3ありますね。今後、増えることがあるとして、事後報告があるのでしょうか。このように、町内に住所地特例対象外の施設が増えることにより町の計画とずれることになり、それを異常値ととらえると、この先、異常値が伸び続けることにな

	らないでしょうか。
事務局	指定は愛知県であり、事後に知らされます。
委員	障害者のグループホームもあるが、その方達が年をとって、高齢者の施設になるかもしれない。事後報告でいいのでしょうか。高齢者が増えることについて、行政の立ち合いが入るなど行政の目を入れないと。町のお考えをお聞きしたいと思います。
事務局	施設については、豊山町の人、名古屋市の施設に入るなどあるので、お互い様という面があります。「はなひなの杜」は高齢者10名と障がい者5人の15人定員の施設です。どうしても高齢者の方が多いので、この数字は仕方ないと思っています。施設整備の権限は愛知県にあり、3年単位の計画の中で、整備計画が立てられます。施設整備については2市1町で計画を立てているので、その中できちんと管理して行きたいと思っています。
委員	特養が増えると利用できる受け皿が増えるプラス面があるが、介護保険からみると、負担が増える面があると感じました。
会長	その他、ありませんか。
委員	昨今、気になる防災対策です。P37にあるような同意書をもとに対策を考えるということでしょうか。どんな支援が必要ですか。
事務局	豊山町の防災計画で定められていて、高齢分野の防災対策は75歳以上の方のみの世帯で要支援1から要介護2の方と、要介護3から要介護5を対象に支援している。P37のような同意書はあるが、元々、住民さんから登録してほしいとって登録していたものの、東日本大震災以降は、なくても災害時は活用できるようになっています。対象の方に同意書を送って、同意書がなくても災害が生じたときは名簿を活用でき、同意を得た人は訓練などで連絡ができます。
委員	民生委員として申すと、昨年度から車いすの方など、以前より顔が見えやすい名簿を作ってもらっています。12月に民生委員の一斉改選があるので、新しい名簿をいただける約束です。以前に比べると、把握しやすくなっています。 車いすの方がいるなど、せめて知っていれば、気にかけることはできると思います。例えば家族2人で寝たきりの世帯があって、おじいちゃんが動けないとき、例えば草取り会の時などの会った時に伝えていけば、お願いしておくことができます。民生委員だけでは不足なので、地域の力が必要。個人情報関係で顔も知らず、情報を知らない人が多い。ご近所に頼むしかない。災害時は民生委員も被災しているので助けられない。でも隣の人のことも知らないのが現実です。
委員	水害や地震、火事はどこでもあります。老人クラブでも気を付けてくださいと言っているが、具体的に、把握しにくいし、特に最近情報は入ってきません。
委員	民生委員にも情報がないです。隣の分譲の人の顔も知らない状況です。
委員	資料の最初にコミュニティと書いてあるので、他の課に関連すると思いますが。
事務局	防災の課があるので、そちらに名簿を送っています。そちらの方と連携していきたいと考えています。
委員	こういうことは、町の中でかなり進められているのでしょうか。
委員	民生委員には情報がありません。どこの人が要介護1だとかは分からない。隣近所の噂がすべてです。
委員	次に「議題(2)平成30年度地域包括支援センター事業報告について」の説明をお

	願います。
事務局	(資料2を使用して説明)
委員	相談事業の件数が3倍になったのは非常に結構なこと。どのように増やしたのか。
事務局	老人クラブなど集まりがあった際に、PR を行わせていただきました。介護係と連携しており、必要があった時に案内してもらっています。
委員	ありがたいこと。みなさん、わからないとよく聞く。いいことだと思います。
委員	かっぼうぎサービスで、減ったということだが、(同じ対象者が)続けていて減ったのでしょうか。
事務局	平成29年度利用していた方が入院したために、延べ数が減りました。メリットとしてはヘルパーより安くできること、シルバーと交流できること、デメリットは広報できていないこと、ケアマネもわからなかったこと、初めてのことなのでお互いに使いにくかったことがありました。
委員	CATV をみているが、背景がグレーで地味なので、バックや服装を派手にして、目にとまるようにされた方がよいのではないのでしょうか。
事務局	検討します。
会長	次に、「議題(3)第9次豊山町高齢者福祉計画・第8次介護保険事業計画の策定について」願います。
事務局	(資料3、資料3別紙を使用して説明)
会長	意見・質問はないのでしょうか。
委員	(意見・質問なし)
会長	では次に「議題(4)その他」をお願いします。
事務局	特にありません。
会長	これで終了します。

## 7 その他

上記のとおり、第1回豊山町高齢者保健福祉審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長代理及び出席者2名が署名する。

令和元年11月18日

会 長 江 崎 弘

署 名 人 小 塚 奈 緒 美

署 名 人 小 泉 チ エ 子